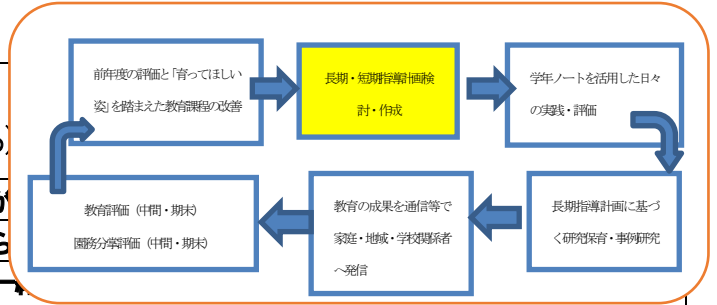


教育課程改善のプロセス ②



平成 30 年度	
長期指導計画	5歳児 六期 (つながりを深める)
《教育目標》	げんきな子・やさしい子 かんが
《学年の目標》	自己発揮し、友達と共感しあいながら
《発達の過程》	自分の思いや考えを伝え合い、友達と一 違とつながる喜びを感じる時期

《幼児の姿》

- ・ 3～4人の仲のよい友達同士で誘い合い、遊びを作り出していこうとする場面が見られるようになってきている。しかし、語気の強い子や自分の思ったままのやり方ばかりを優先する子のペースで遊びが進められ、不満をもつ場面が多くなってきている。
- ・ 戸外の遊具や用具、自然に積極的に働きかけようとする意欲が高まってきている。
- ・ 学級の枠にこだわらず、いろいろな友達と積極的にかかわろうとする。
- ・ 学級のみみんなで様々な活動をして遊ぶことを楽しむようになってきている。
- ・ 片付けや当番活動は大体手順が分かり、自分たちで進めるようになってきている。

《ねらい》

- 友達と一緒に様々な遊びを作り出していく楽しさを味わう
- 目標をもって試したり、考えたり、挑戦しようとする
- みんなの中で、自分なりに動きながら友達とつながっていく楽しさを味わう
- 自分たちで生活を進めていこうという気持ちを持つ

《経験内容》

健康

- ・ それぞれが目標をもって挑戦しようとする。(雲梯、のぼり棒、鉄棒)
- ・ 友達とかかわりながら、体を存分に動かし、水の中で開放感を味わう。(リズム運動、プール)
- ・ 暑さに応じた生活を考え、衣服調節や汗の始末等自分でやろうとする。
- ・ 安全に気を付けて歩こうとする。
- ・ 園生活に必要なことに気づき、友達と一緒にやってみようとする。

人間関係

- ・ 友達と一緒に当番の仕事を進めながら、みんなの中の一人ということに喜びをもてるようにする。
- ・ 他の組の友達や先生と一緒に体操や散歩をしたり、関わったりすることを喜ぶ。
- ・ 集団遊び等を通して、友達とのつながりを楽しむ。
- ・ 同じ場で遊ぶ友達と思いや考えを出し合いながら遊びを進めていくことを楽しむ。

環境

- ・ 自分の物やみんなで使う物を大切にしようとする。
- ・ 自然の素材を取り入れながら、遊びを楽しむ。(黒土、草花、さくらの実など)
- ・ 目的に合わせて材料や用具を選んだり、試したりする。(ホチキス、糸と針、和紙、千代紙、空き容器)
- ・ 飼育物や園内外の自然にかかわりながら、自分の関心を追求したり、遊びに取り入れて楽しむ。
- ・ 物と対応したり数えたり、分類することを喜ぶ。
- ・ 七夕を通して様々な伝統や文化に触れる。

言葉

- ・ 自分の気持ちや考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを続けようとする。
- ・ 共通体験をした内容の話や全体に話されることに興味を持って聞く。
- ・ 生活の中で気付いたことを、学級の友達に伝えたり、互いに知らせたりする。
- ・ 友達と絵本や物語等のストーリー性のあるお話を友達と聞くことを楽しむ。

表現

- ・ 友達とイメージが重なり合っていく楽しさを感じ取る。
- ・ 様々な材料や描画材料に触れ、試したり考えたりしながら、自分の思いやイメージを表現する。(絵の具、コンテ)
- ・ 目的をもち、友達のようにやってみようと工夫して取り組む。
- ・ 七夕の行事を通して、歌ったり、踊ったり、楽器を演奏したりして、想像をふくらませる。

《環境の構成と指導のポイント》5歳児 六期

《予想される活動》

健康

- 一人一人が目標を持ち続けられるような表示をしたり、認めたり励ましたりしていく。
- 長時間日が当たる場所で遊ぶことを避ける、水分補給や衣服の調節をすること等を教えていく。
- プール遊びでは、一人一人が開放感を味わい、その子なりに取り組んでいる姿を認めていく。
- 安全に対して、慣れや友達と一緒にの楽しさから緊張感が薄れてきている子もいる。時々様子を見たり、話題にしたりして再確認していく。
- 片付けや当番の仕事を進んでやろうとしている姿や自分たちだけでやったことを認め励まし、次への意欲につなげていくようにする。
- 食事をする時の姿勢や箸の持ち方等話し合い、自ら意識したり、友達同士言い合える雰囲気を作っていく。

人間関係

- 3,4人の友達と、思いや考えを出し合って遊び、楽しかったという思いを味わえるようにしていく。
- 相手の思いに触れられるような問いかけをしながら、自分のしたことを振り返っていけるようにする。
- 自分たちで遊びを進めている姿や、友達同士で刺激し合い、考え合う姿を継続的に見守る。
- 自分の思いやイメージが先行し、友達とぶつかり合ってしまう場面では、仲間で言い合える状況作りを仕掛けていく。
- 学年で楽しめるゲームを提案し、様々な友達とかかわる楽しさを繰り返し経験できるようにする。

環境

- 物を大切にしたいくなるような状況やきれいに掃く等、場所を整えようとする姿を捉え、考えあつたりしていく。
- 花や野菜の生育や変化に気づき、喜んだり驚いたりする経験ができるようにする。
- 砂場の用具や七夕の製作で使う材料の数を数えたり、分類したりして楽しめるような環境作りをしていく。
- 遊びの中で一人ひとりのペースで試行錯誤し、もっとこうしたいという心が動くような材料や用具の提示の仕方を吟味していく。(泡・パイプ・板など)
- 園外に出かける機会を逃さないようにし、初夏の自然に触れられるようにする。
- 生き物をじっくりと観察したいくなるような環境づくりや、感動を共有できる場面を逃さないようにする。
- 七夕を通して様々な伝統や、文化に触れられるよう教材研究する(導入、七夕飾りの云われ等)

言葉

- 自分の思いや考えを自分なりの言葉で相手に一生懸命伝えようとしている姿を見守り、うまく伝わらない時には仲立ちや橋渡しをしていく。
- 3,4人の友達との遊びの中で、自分の思いや考えを話したり、友達の話を聞いたりする場面を意識して作り、その子の良さを引き出すつなげ方を工夫していく。
- 遊びや生活の進め方など、必要感を感じ、話を聞きたくなるような状況を作っていく。
- 絵本や物語から感じたことや想像したことを言葉にする姿に共感し、友達の考えに気付いたり自分の考えを話したりする姿を引き出していく。

表現

- 製作や料理ごっこ等の遊びでは、より本物らしく工夫したくなるように考えたり、必要な物を探したりする。
- 壁面飾りや七夕飾りの製作を通して、協力し合う心地よさや集合美を感じ取れるようにする。
- 絵の具で混色の面白さを味わい、自分なりにじっくりと試すことができるようにする。
- 繰り返し表現するなかで、熟達する楽しさや発見、感動に共感していく。

歌わらべ歌・手遊び

- ・とけいのうた
- ・かたつむり
- ・おたまじゃくし
- ・かえるの歌
- ・七夕さま
- ・おほしさま
- ・きらきらぼし
- ・園歌
- ・ヤッホッホ夏休み
- ・おぼけなんてないさ
- ・アイスクリームの歌

集団遊び

- ・鬼ごっこ
- ・ドンジャンケン
- ・だるまさんがころんだ
- ・リレー

運動・体操

- ・新たな体操 (8月～)
- ・プール遊び
- ・ボール遊び(サッカー、ドッジボール)

生き物の飼育

- ・うさぎ
- ・かたつむり
- ・だんごむし
- ・おたまじゃくし
- ・かえる
- ・ザリガニ

植物栽培

- ・収穫
(二十日大根)
- ・畑の草取り
- ・朝顔の水やり→開花
→色水作り

園外保育

- ・鳥谷ヶ崎公園
- ・まなび学園
- ・後山川原
- ・市役所周辺

絵画製作

- ・色水遊び
- ・七夕(星、奴、野菜、だまし船)

リズム・楽器

- ・4拍子のリズム
- ・鍵盤「キラキラぼし」

行事

- ・保育参観
- ・祖父母参観
- ・プール開き
- ・夕涼み会
- ・七夕会